



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社

コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石脇 智広

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 山根 清文 (TEL) 078-861-7791(代表)

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,727	△4.1	31	△1.8	41	△72.2	△113	—
28年3月期第2四半期	19,523	12.9	31	—	149	—	147	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 35百万円(△33.3%) 28年3月期第2四半期 53百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△14.67	—
28年3月期第2四半期	19.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	20,068	7,409	36.1
28年3月期	20,375	7,453	35.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,237百万円 28年3月期 7,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00			
29年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△4.0	400	47.1	300	△29.5	50	△86.9	6.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	8,000,000株	28年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	291,791株	28年3月期	291,771株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	7,708,217株	28年3月期2Q	7,708,232株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行による企業収益悪化の懸念、世界経済の停滞や英国のEU離脱問題等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力マーケットである食品業界は、先行きへの不安から消費者の節約志向は依然として強く、価格競争が継続するなか、依然として厳しい経営環境が続きました。

コーヒー業界におきましては、コーヒー生豆相場は期初から上昇し、予断を許さない状況であります。

このような状況のなか、当社グループは新たな中期経営計画「Sプロジェクト」達成に向け、開始初年度である当連結会計年度は、社内体制の改革や漸進的な改善・整備による収益体質健全化・強化に注力し、利益率・資金回転の改善と経営体質の徹底強化に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上高は18,727百万円（前年同期比4.1%減少）となりました。利益面につきましては売上総利益率は改善したものの、販売管理費の増加により、営業利益は31百万円（前年同期比1.8%減少）、また持分法による投資利益の減少等により、経常利益は41百万円（前年同期比72.2%減少）、確定拠出年金制度への移行による特別損失の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失は113百万円（前年同期は147百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

## ① コーヒー・飲料部門

## 1) コーヒー生豆

コーヒー生豆のニューヨーク市場価格は、期初の1ポンドあたり127.45セントから、生産国での天候不順による影響が懸念され9月末には151.55セントとなりました。

このような状況下ですが、プレミアムコーヒーの販売は予定通り推移したものの一般品の販売袋数が減少したことにより、コーヒー生豆の売上高は前年同期比22.3%減少いたしました。

## 2) コーヒー加工品

レギュラーコーヒーは、コーヒーバッグが順調に拡大し、またインスタントコーヒーは、オフィス向け商品および家庭用商品が順調に推移いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比5.8%増加いたしました。

## 3) 飲料事業

飲料原料は、ナタデココが厳しい販売競争の影響で減少したものの、濃縮果汁等が順調に推移したこともあり、売上高は前年同期比11.3%増加いたしました。

茶類は、紅茶バルクおよびウーロン茶バルクの販売が順調に推移し、売上高は前年同期比4.2%増加いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は前年同期比6.1%増加いたしました。

これらの理由によりコーヒー・飲料部門の売上高は6,265百万円（前年同期比8.5%減少）となりました。

## ② 食品部門

## 1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、マンゴー缶詰およびスイートコーン缶詰が減少いたしました。黄桃缶詰等の販売が順調に推移したため、売上高は前年同期比2.3%増加いたしました。

イタリアからの輸入食品は、パスタおよびオリーブオイルが激しい販売競争の影響もあり販売が伸びず、売上高は前年同期比10.2%減少いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比7.8%減少、冷凍食品の売上高は前年同期比5.5%減少いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比5.5%減少いたしました。

## 2) 水産および調理冷蔵

水産は、主力商品であるエビおよびイカの販売が順調に推移し、売上高は前年同期比5.6%増加いたしました。

調理冷食は、大手得意先との鶏加工品取引が拡大したことにより、売上高は前年同期比13.8%増加いたしました。

その結果、水産および調理冷食の売上高は前年同期比8.6%増加いたしました。

### 3) 農産

生鮮野菜は、レタスおよび人参が減少いたしましたが、国産玉葱の不作による輸入品の増加により、売上高は前年同期比3.8%増加いたしました。

加工品は、蓮根加工品の厳しい販売競争の影響および円高による売価下落により、売上高は前年同期比16.5%減少いたしました。

その結果、農産の売上高は前年同期比8.0%減少いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は10,773百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。

### ③ 海外事業部門

円高進行の影響や輸出先の経済の減速などにより、海外事業部門の売上高は1,689百万円（前年同期比4.5%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は20,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ306百万円の減少となりました。これは主に売上債権の増加に対し、現預金およびその他の資産の減少によるものであります。

負債合計は12,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

純資産合計は7,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円の減少となりました。これは主に繰延ヘッジ損益163百万円の増加に対し、配当金の支払い77百万円および当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失113百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想および配当予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,273,278	2,073,469
受取手形及び売掛金	6,643,525	6,818,399
商品及び製品	3,572,952	3,859,879
未着商品	1,089,393	810,521
仕掛品	12,781	15,560
原材料及び貯蔵品	85,925	70,632
その他	577,356	376,669
貸倒引当金	△11,213	△11,448
流動資産合計	14,244,000	14,013,684
固定資産		
有形固定資産	2,586,402	2,593,604
無形固定資産	98,193	147,891
投資その他の資産		
投資有価証券	2,941,551	3,002,632
その他	561,564	362,284
貸倒引当金	△56,897	△51,513
投資その他の資産合計	3,446,218	3,313,402
固定資産合計	6,130,814	6,054,899
繰延資産	249	55
資産合計	20,375,064	20,068,639

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,637,600	3,383,015
短期借入金	2,051,600	1,886,000
1年内償還予定の社債	80,000	45,000
1年内返済予定の長期借入金	1,520,056	1,517,756
未払法人税等	55,668	26,006
賞与引当金	126,473	172,550
その他	1,577,973	1,439,910
流動負債合計	9,049,372	8,470,239
固定負債		
長期借入金	3,202,388	3,543,260
退職給付に係る負債	104,011	111,439
その他	565,539	534,113
固定負債合計	3,871,938	4,188,813
負債合計	12,921,311	12,659,052
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,541,096	6,350,926
自己株式	△107,434	△107,440
株主資本合計	7,413,861	7,223,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,470	108,826
繰延ヘッジ損益	△295,579	△132,418
為替換算調整勘定	40,904	37,807
その他の包括利益累計額合計	△142,204	14,215
非支配株主持分	182,095	171,685
純資産合計	7,453,752	7,409,586
負債純資産合計	20,375,064	20,068,639



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,523,782	18,727,596
売上原価	17,416,755	16,594,274
売上総利益	2,107,026	2,133,321
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	432,434	428,439
貸倒引当金繰入額	7,636	△3,436
報酬及び給料手当	491,828	526,205
賞与引当金繰入額	116,499	151,899
その他	1,026,707	998,859
販売費及び一般管理費合計	2,075,106	2,101,967
営業利益	31,920	31,354
営業外収益		
受取利息	2,082	1,907
受取配当金	2,040	3,071
持分法による投資利益	140,344	51,244
受取賃貸料	9,900	9,904
その他	20,363	15,074
営業外収益合計	174,731	81,203
営業外費用		
支払利息	47,520	42,428
為替差損	2,753	22,385
その他	6,984	6,284
営業外費用合計	57,258	71,099
経常利益	149,393	41,458
特別損失		
固定資産除却損	457	3,170
退職給付制度改定損	—	223,636
特別損失合計	457	226,806
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	148,935	△185,348
法人税、住民税及び事業税	21,869	14,052
法人税等調整額	△14,732	△78,484
法人税等合計	7,136	△64,431
四半期純利益又は四半期純損失(△)	141,799	△120,916
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,294	△7,829
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	147,093	△113,087

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	141,799	△120,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,739	△2,511
繰延ヘッジ損益	△120,108	163,161
為替換算調整勘定	6,381	△3,097
持分法適用会社に対する持分相当額	10,403	△1,133
その他の包括利益合計	△88,582	156,420
四半期包括利益	53,216	35,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,510	43,332
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,294	△7,829

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。